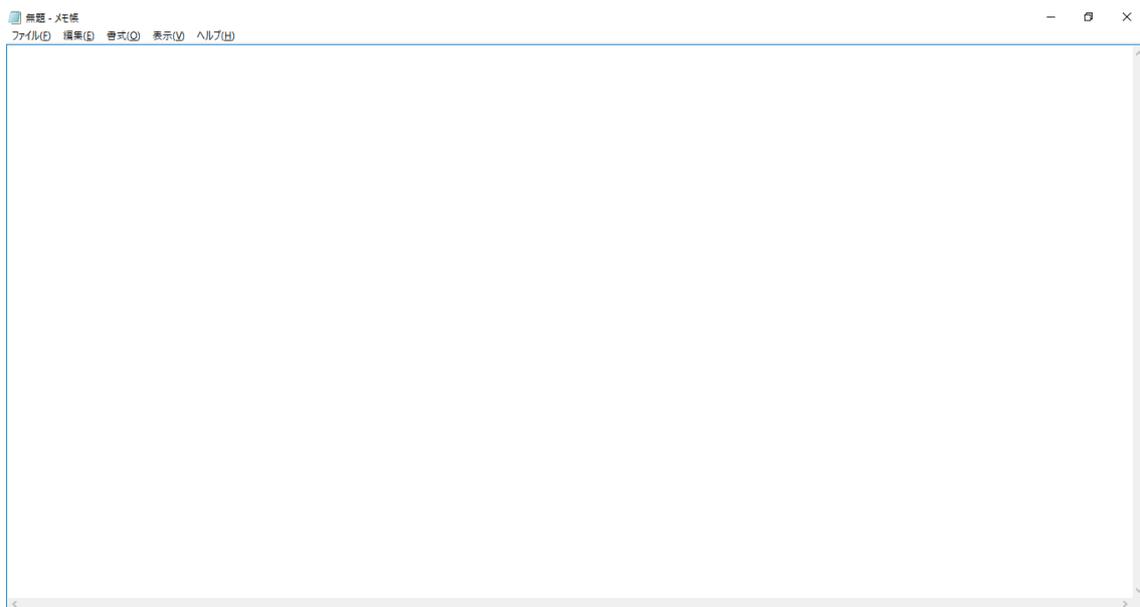


## 12 画面録画

パワーポイントは、画面を操作する様子を録画し、スライドの中に組み込む機能があります。一般的に、動画を使うと、同じ内容を文字や静止画で説明するよりも、分かり易くなります。ここでは、IE のアドレス欄にキーボードから URL を入力する様子を録画する例を取り上げます。録画する領域を選ぶことによって、さまざまな画面の操作を録画再生できます。上手に活用してください。

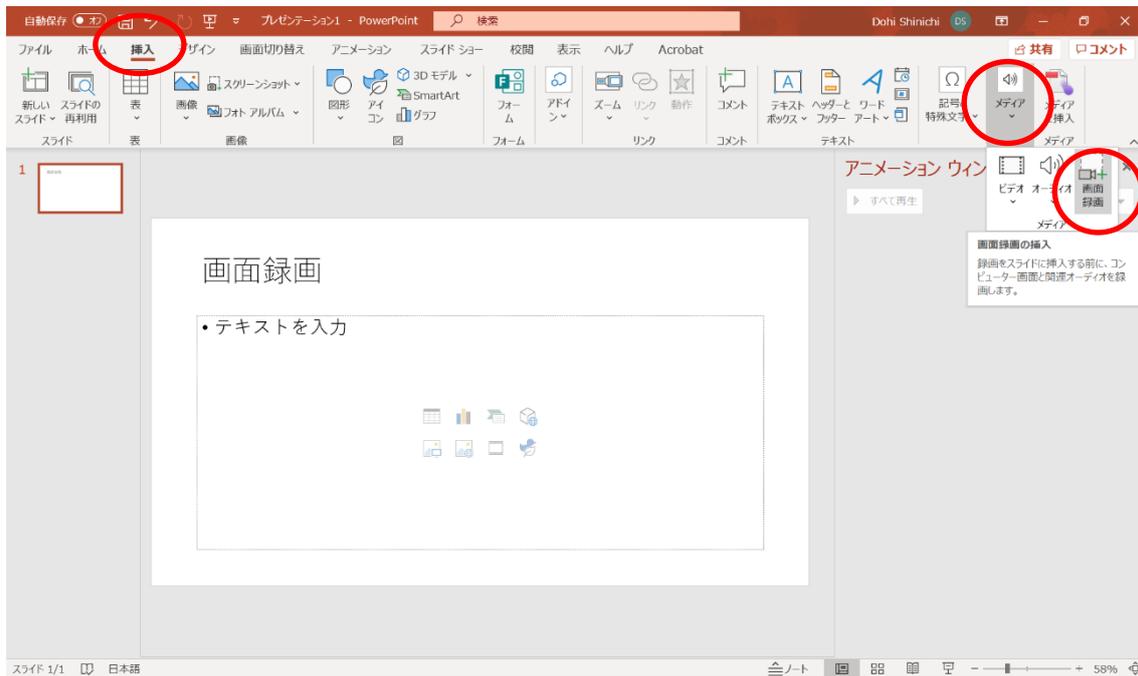
(1) 一例ですが、背景は白地にするために、メモ帳を起動し全画面表示しておきます。



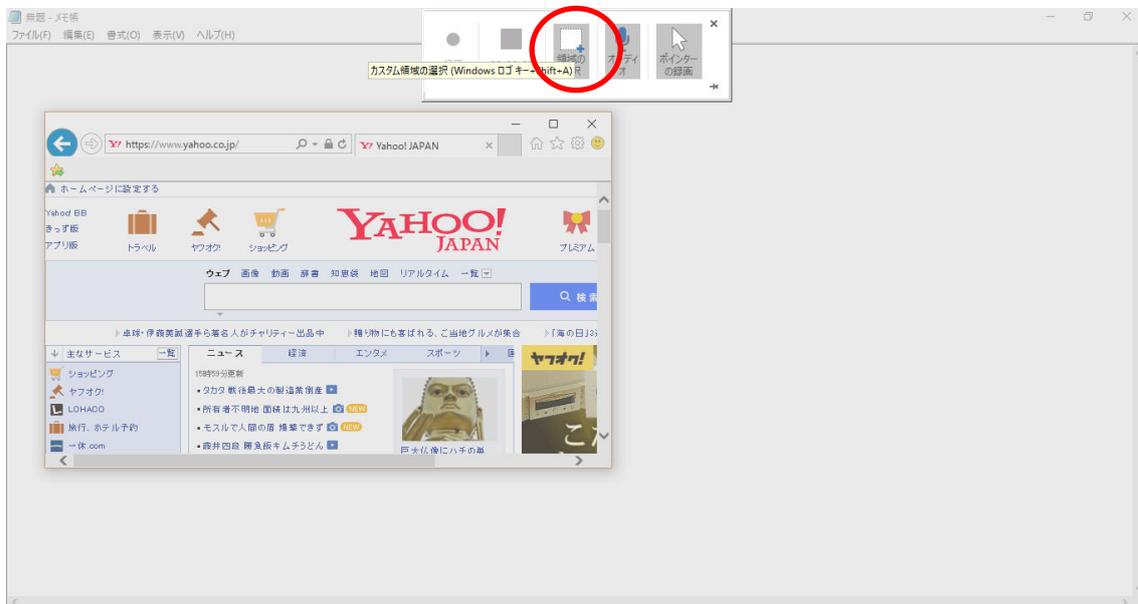
(2) 次に IE を起動し、ウインドウの大きさを調整しておきます。



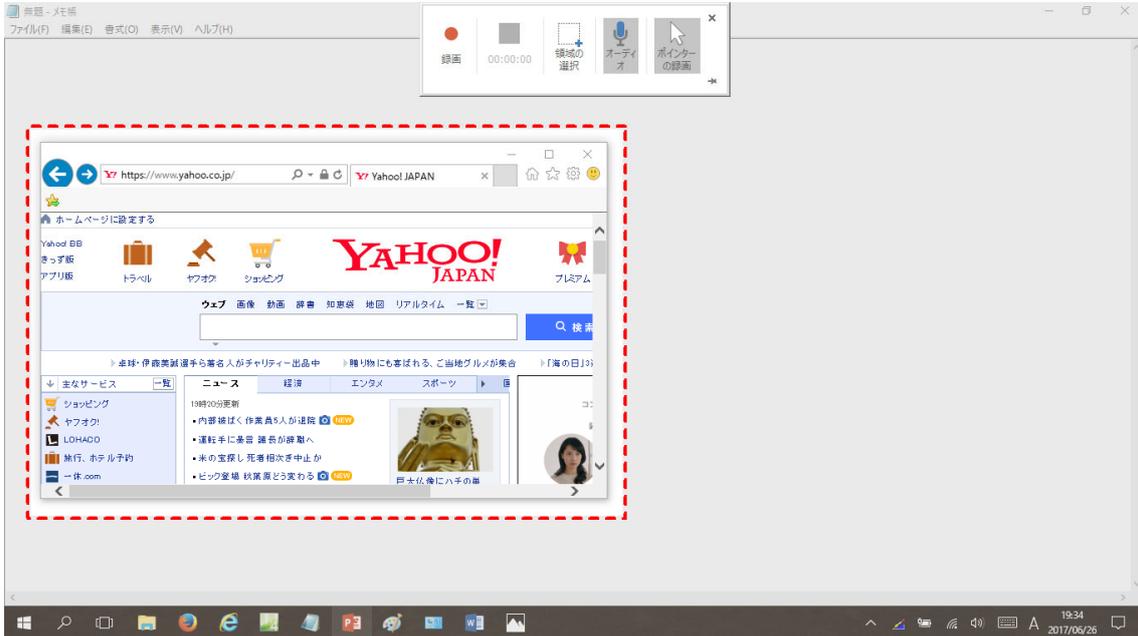
- (3) このスライドの例は、タイトルとコンテンツを使用しました。「挿入タブ」タブをクリックし、「メディア」「画面録画」の順にクリックします。



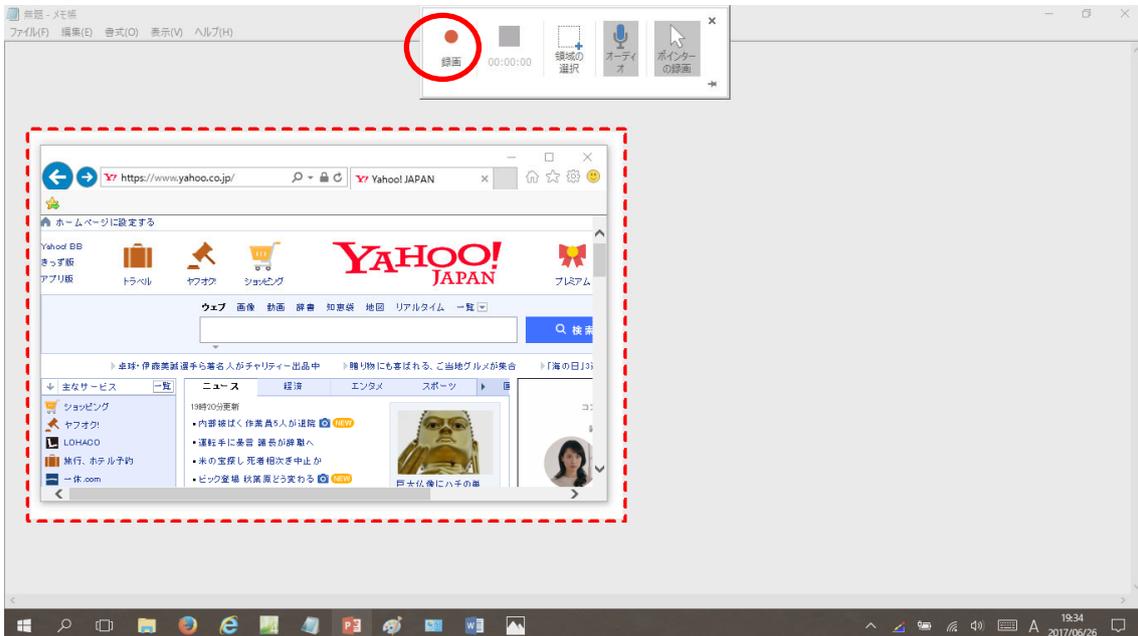
- (4) 「領域の選択」をクリックします。



(5) IEが表示されている領域を、マウスでドラッグします。ドラッグした領域は、グレー表示から白に変わります。



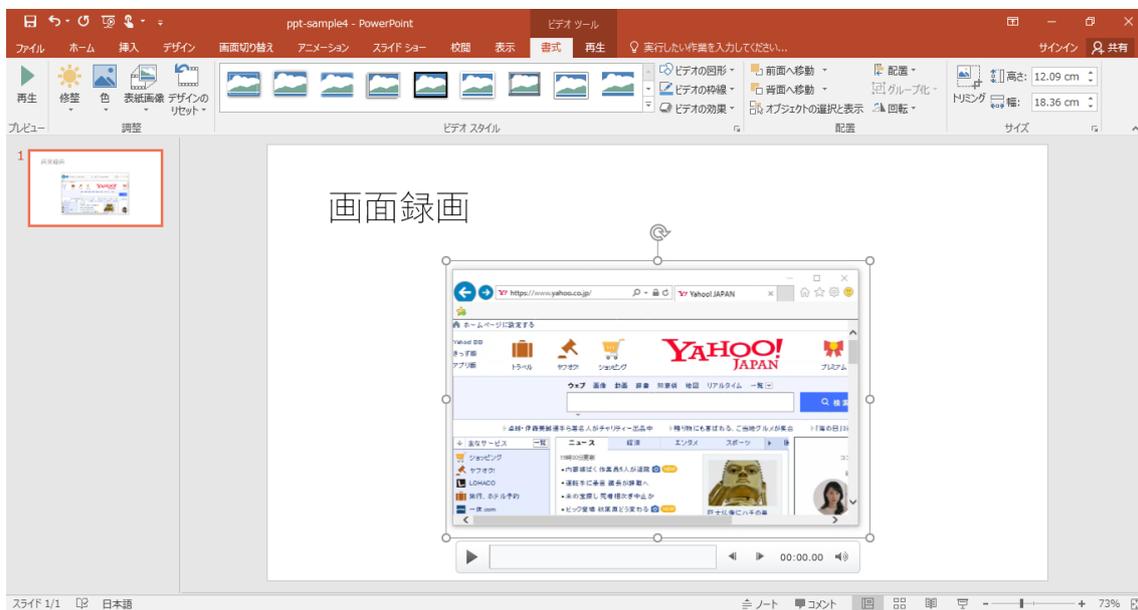
(6) 「録画」をクリックします。



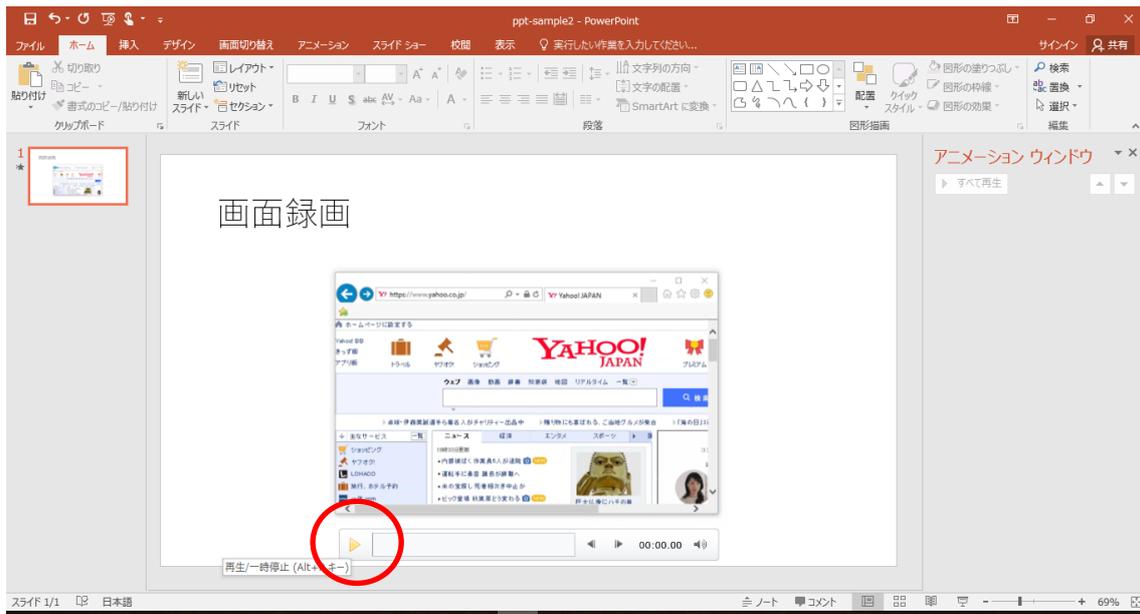
- (7) 「録画」をクリックすると、3 秒前からカウントダウンが始まります。カウントダウンが終了したら、東京電機大学の URL 「<http://www.dendai.ac.jp/>」をアドレス欄に入力します。



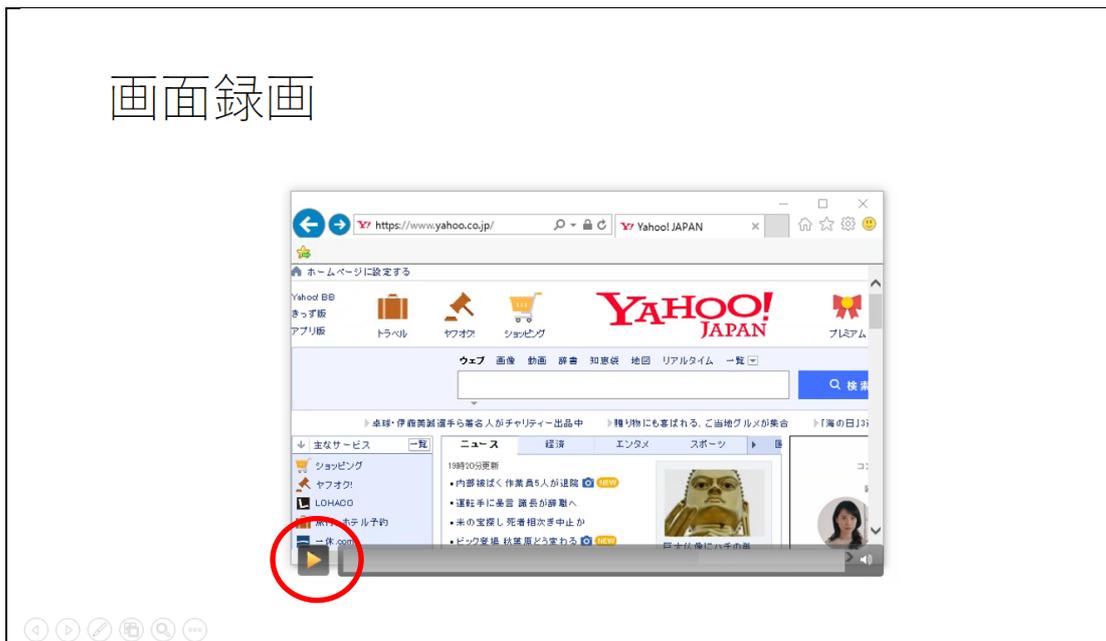
- (8) 「Windows ロゴ + Shift + Q」を押すと録画が停止し、画面録画のコンテンツがスライドに組み込まれます。



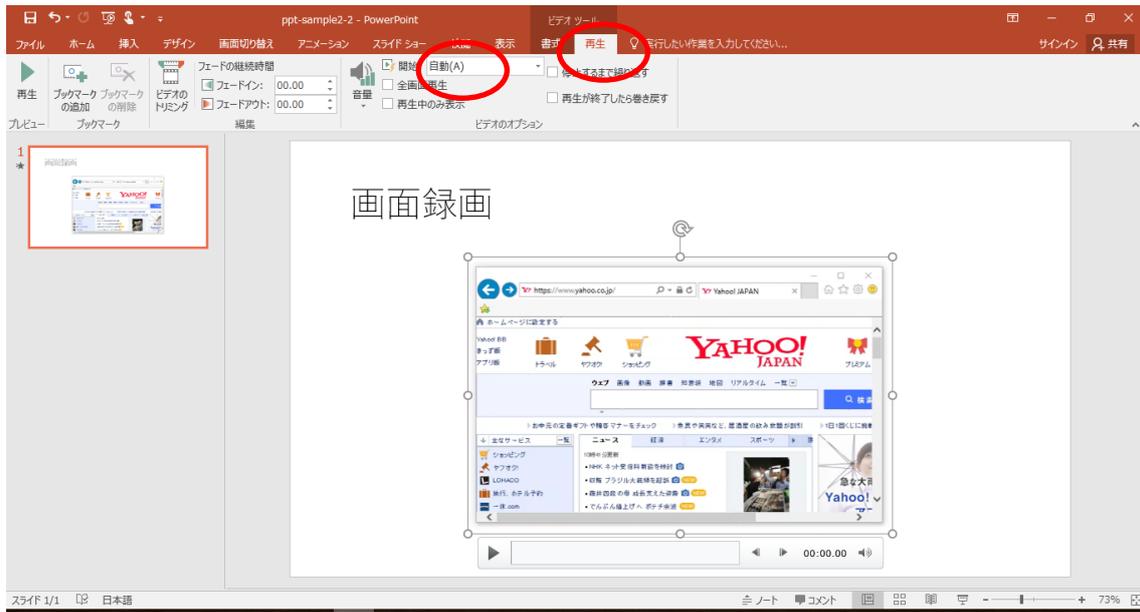
(9) スライド編集画面で、「▶」をクリックすると再生できます。



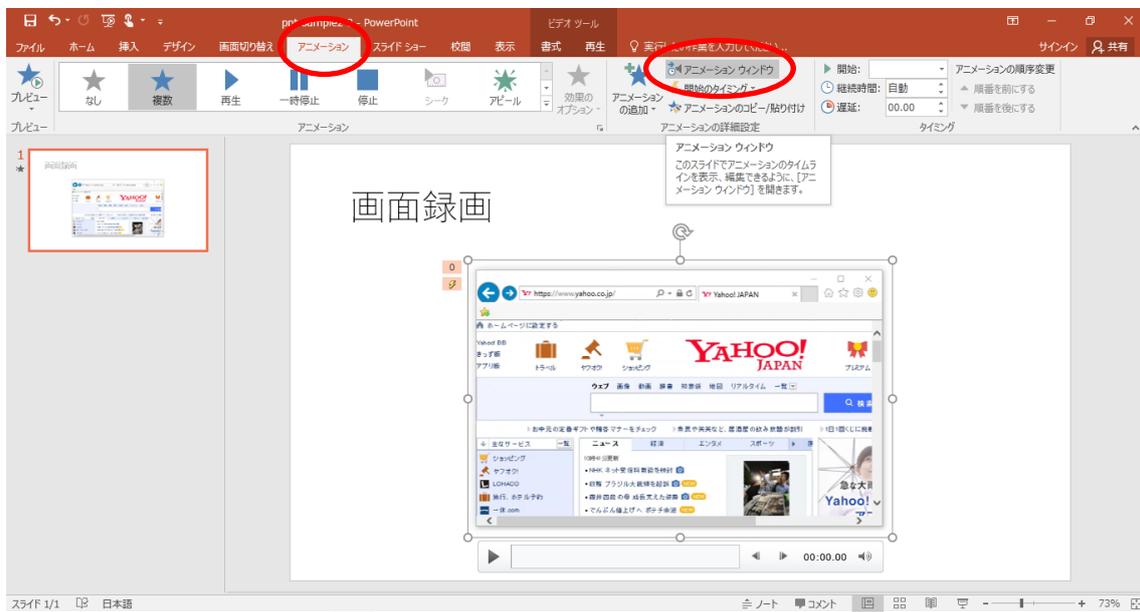
(10) 同様にスライドショーを実行し、「▶」をクリックすると再生できます。



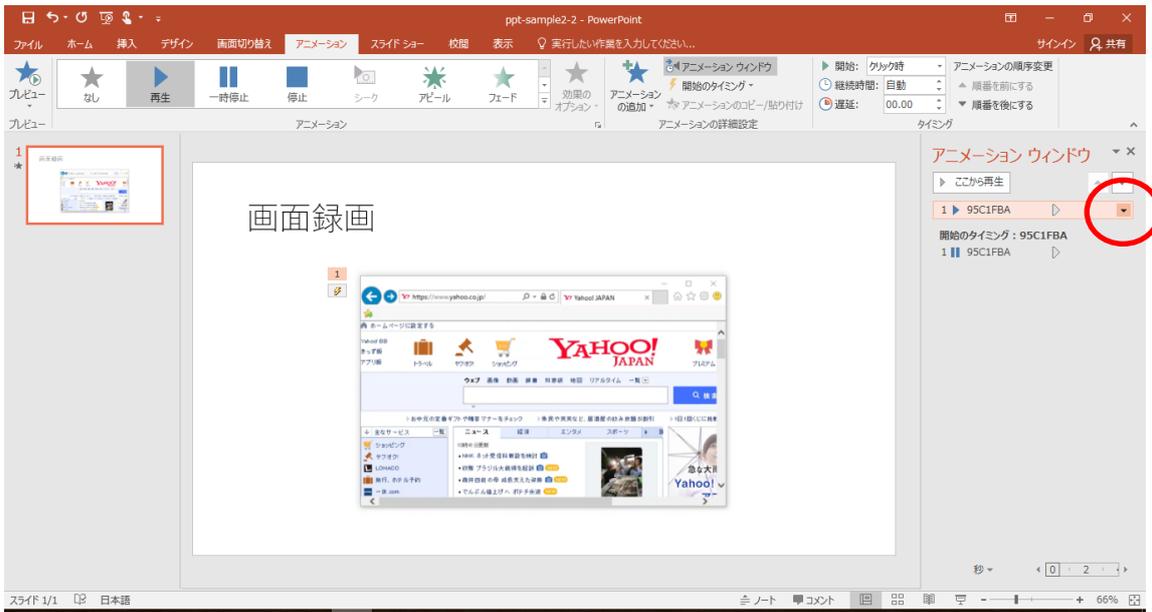
(11) スライドショーの途中で「▶」をクリックするのは、煩雑に見えます。この対策は、まず、「再生」タブをクリック、開始は一旦、「自動」に設定します。



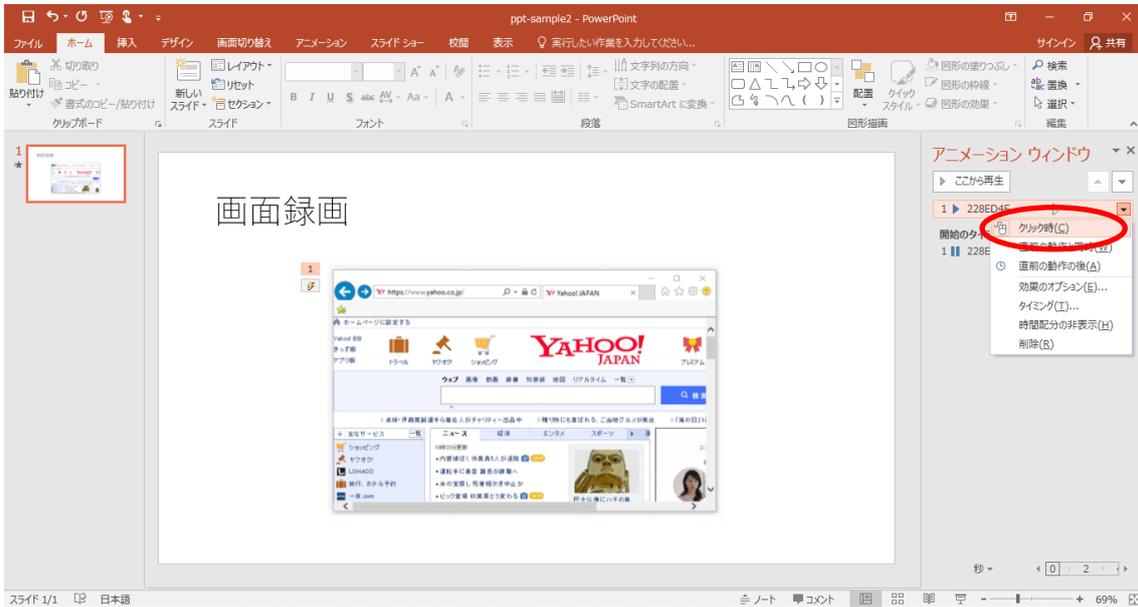
「アニメーション」タブをクリックし、「アニメーションウィンドウ」をクリックします。既にアニメーションウィンドウが開いている場合は、この操作は必要ありません。



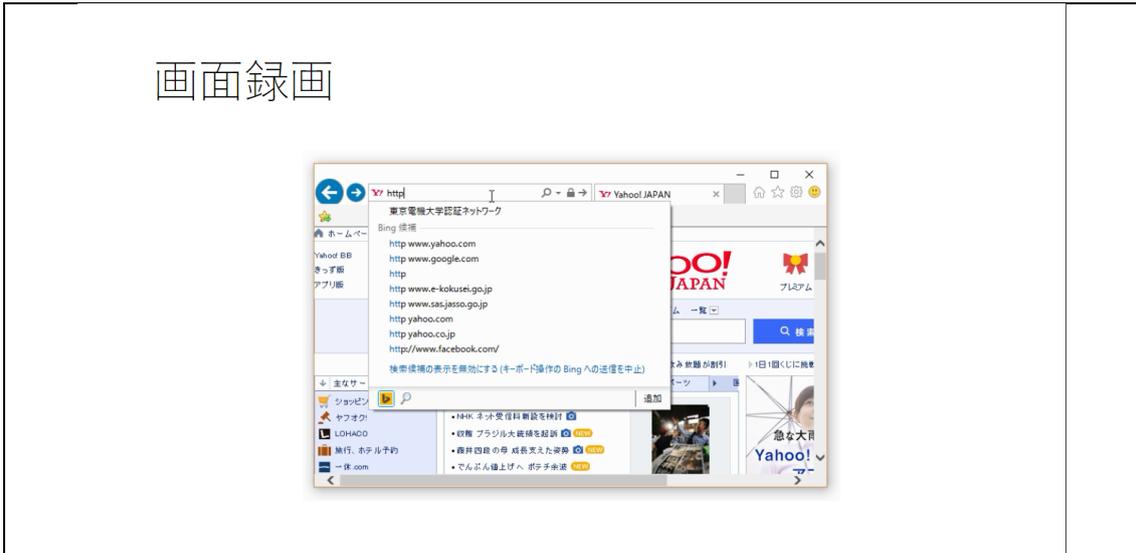
次にアニメーションウィンドウで、「▼」をクリックします。下側にある開始のタイミン  
グではありませんので、注意してください。



「クリック時」を選択します。



スライドショーを実行すると、画像を録画したオブジェクトを選択しなくても、マウスのクリックの操作で、録画した画面の再生が始まります。

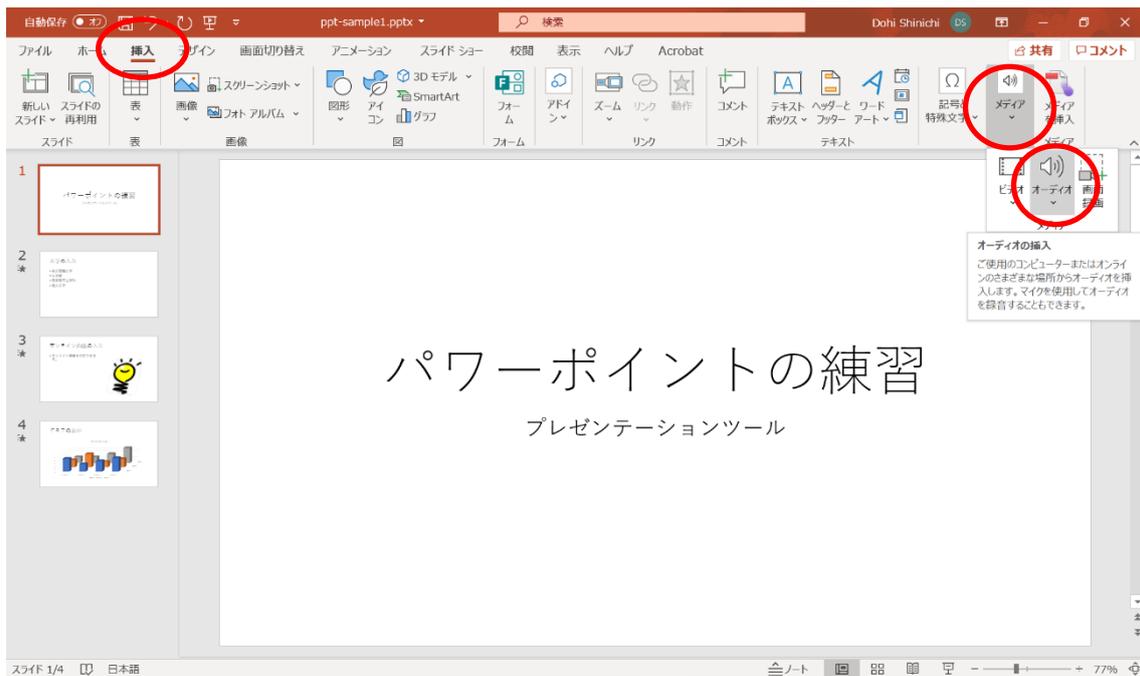


「ppt-sample2」の名前で保存しておきましょう。

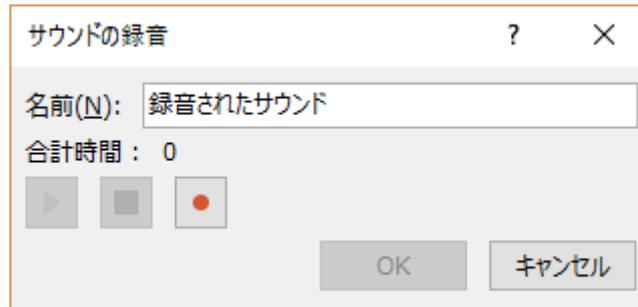
## 13 音声の録音

パワーポイントは、音声を録音することができます。ここでは、前回作成した、「ppt-sample1」のスライドに、音声を入れてみましょう。

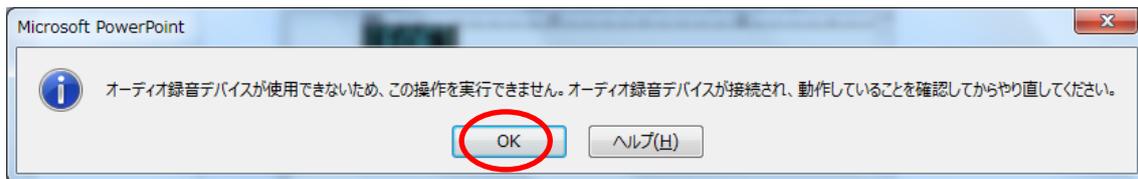
- (1) 「ppt-sample2」は閉じ、「ppt-sample1」を開きます。
- (2) 名前を付けて保存を行い、「ppt-sample3」で保存しておきます。
- (3) 1枚目のスライドを表示し、「挿入タブ」をクリックし、「メディア」「オーディオ」の順にクリックします。



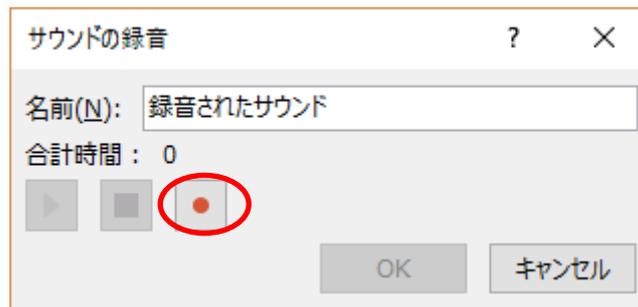
(4) 以下の表示が出る場合は、ノート PC にマイクが接続されています。



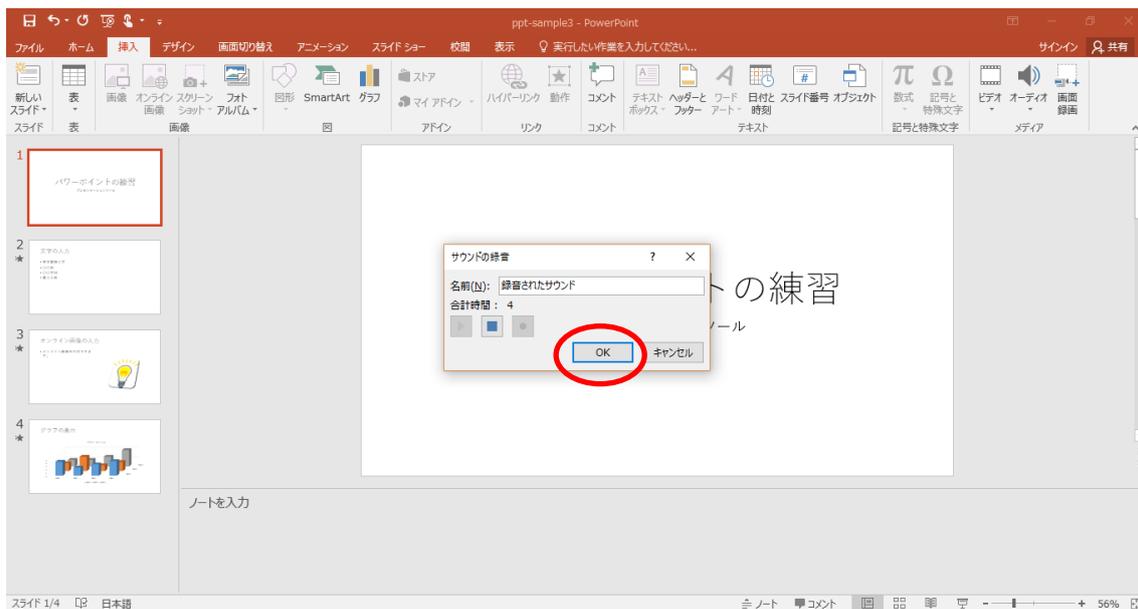
以下の表示が出る場合は、ノート PC にマイクが接続されていません。「OK」をクリックし、マイクを準備して、ノート PC に接続してください。



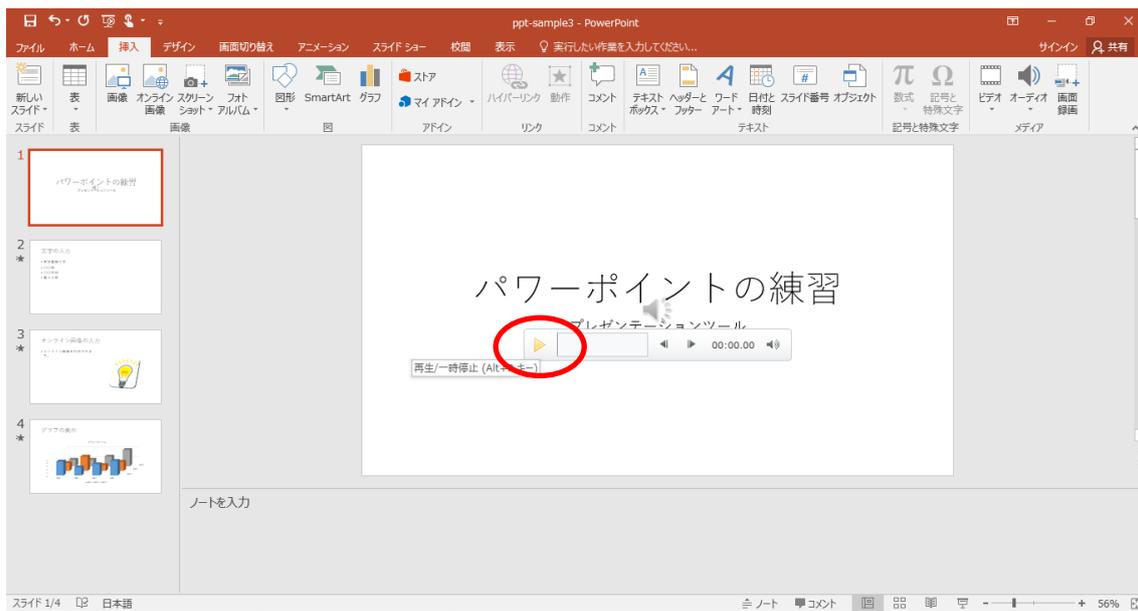
(5) マイクの準備ができれば、「録音」をクリックします。一例ですが、「パワーポイントの練習」と発声し、録音してみましょう。



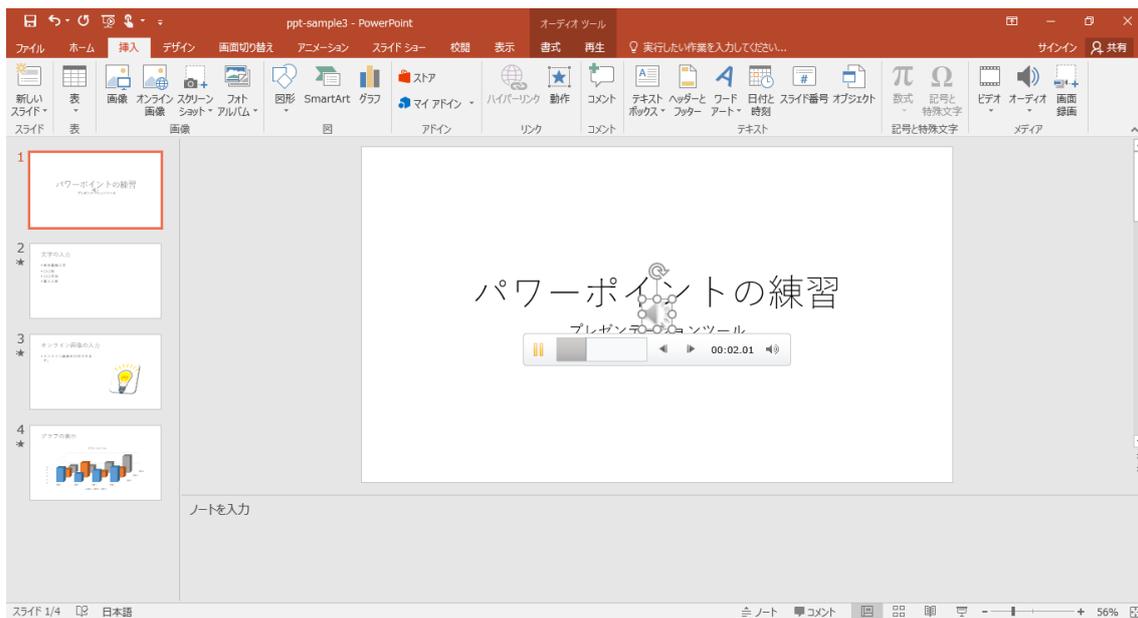
(6) 録音を終了する場合は、「OK」をクリックします。



(7) スライドの編集状態で再生する場合は、「▶」をクリックします。

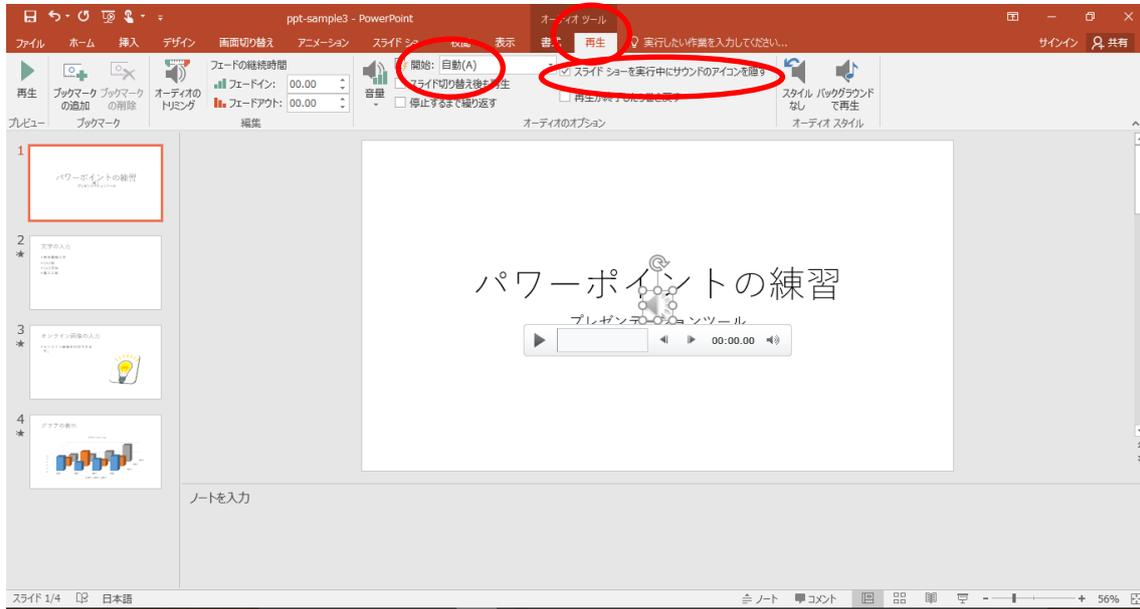


再生が始まります。



※自分の声を録音して聞くと、自分の声よりも高い声に聞こえます。普段聞いている自分の声は、骨伝導によって鼓膜に伝わる低い音も聞いているためです。

(8) このままスライドショーを実行すると、サウンドアイコンが表示されます。スライドショーでは、特別な場合を除き、見えなくする方が良いでしょう。サウンドアイコンを消すためには、「再生」タブをクリックし、「スライドショーの実行中にサウンドのアイコンを隠す」をチェックします。また、開始は「自動」を選択しておきます。



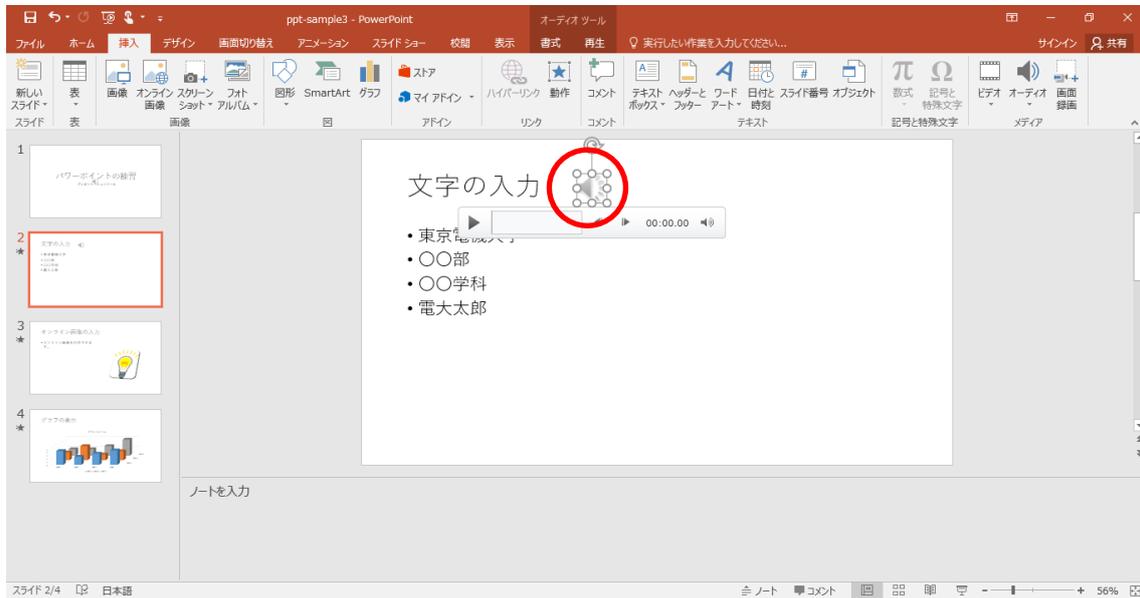
(9) この設定によって、スライドショーを最初から実行すると、1枚目のスライドが表示されると同時に、録音した音声も再生されます。



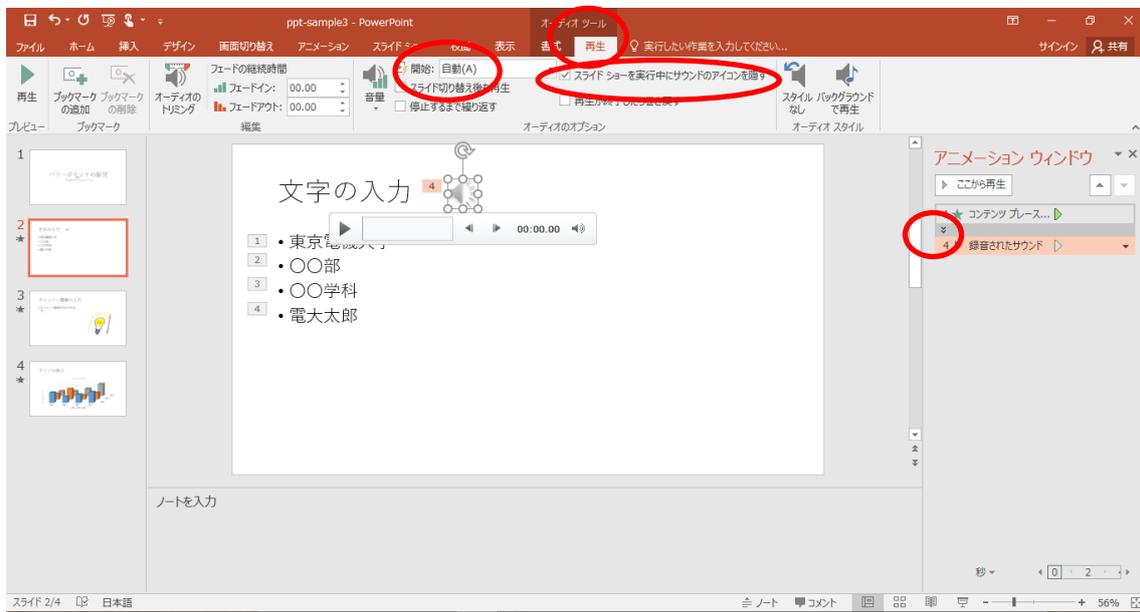
# パワーポイントの練習

プレゼンテーションツール

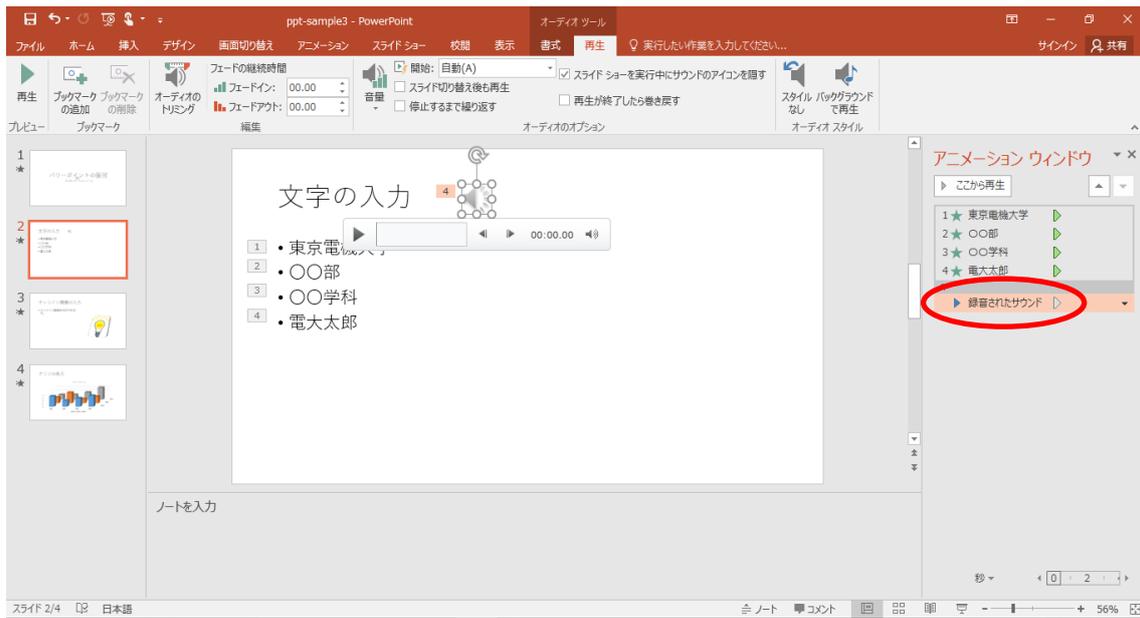
(10) 1枚目と同様に、2枚目のスライドにも音声を入れてみましょう。ここでは、文字列毎に音声を入れてみます。最初は、タイトルに合わせ、「文字列の入力」を発声し、録音します。



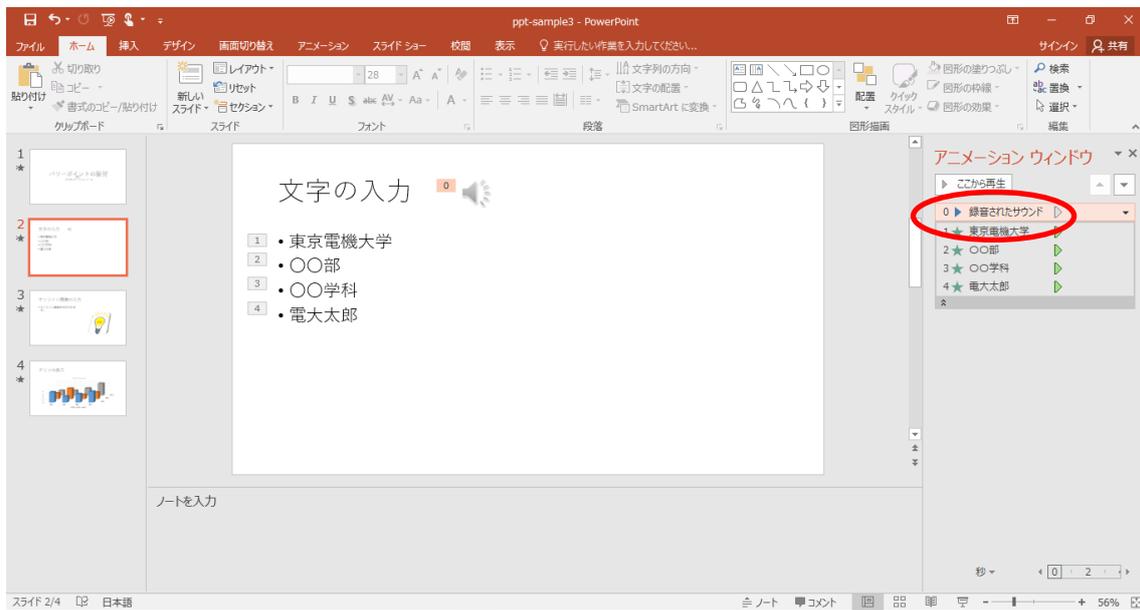
「再生」タブをクリックし、「スライドショーの実行中にサウンドのアイコンを隠す」をチェックします。また、開始は「自動」を選択しておきます。さらに、コンテンツプレースを表示します。



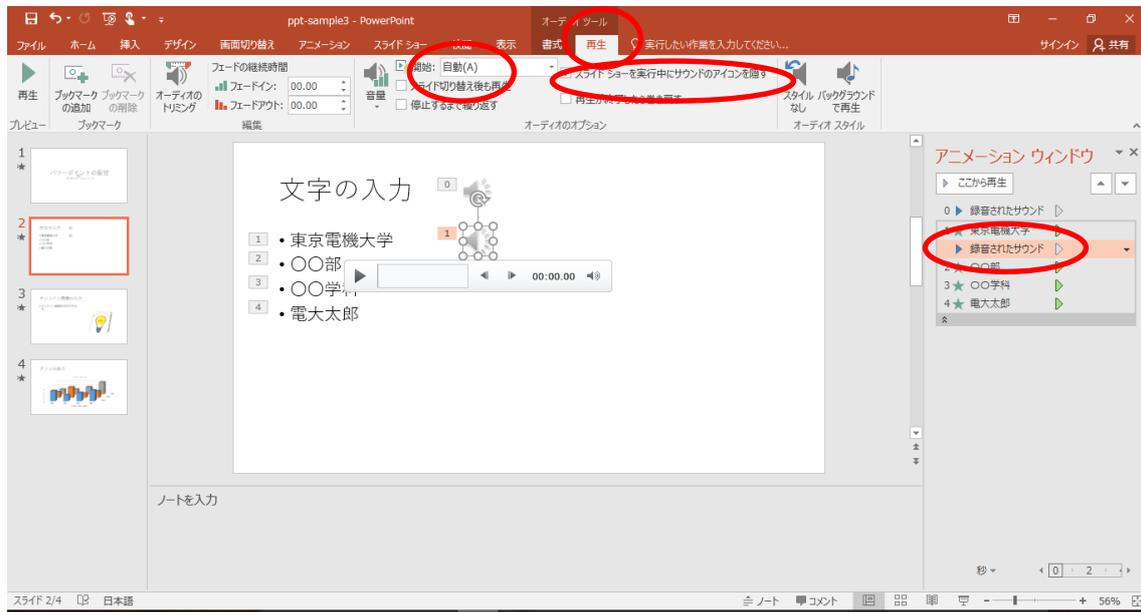
今、録音したばかりの「録音されたサウンド」をクリックします。



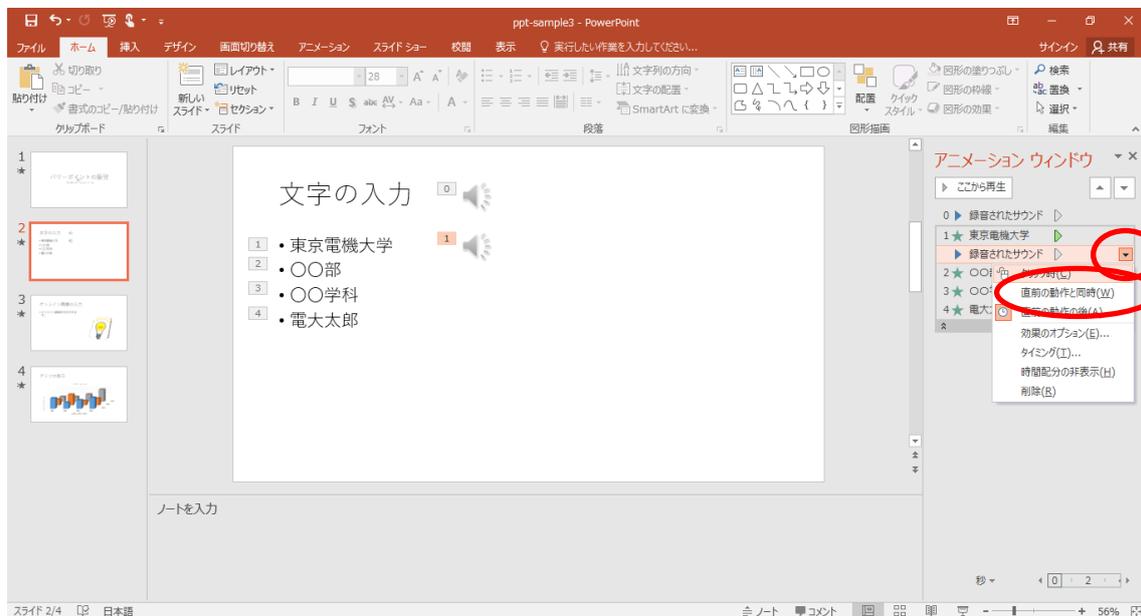
マウスでドラッグし、「東京電機大学」の前へ移動します。このように設定すると、クリック操作によって「文字の入力」が表示された直後に、その音声を再生できます。



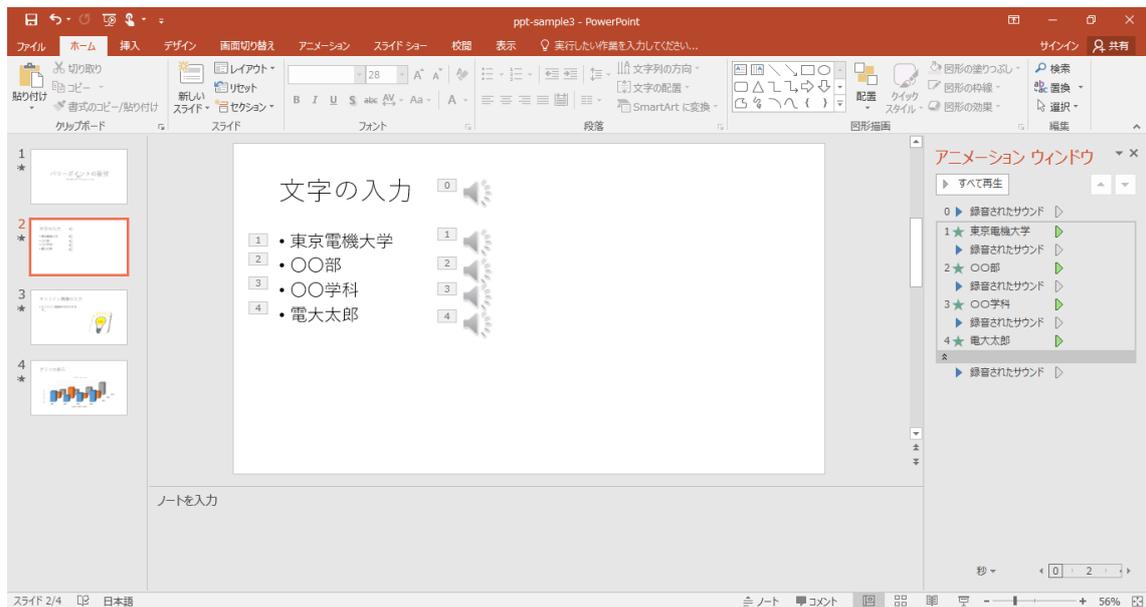
同様に、「東京電機大学」を发声し録音します。「再生」タブをクリックし、開始は「自動」を選びます。アニメーションウィンドウを開き、「録音されたサウンド」をクリックします。マウスでドラッグし、「東京電機大学」の次へ移動します。



東京電機大学を録音した、「録音されたサウンド」の「▼」をクリックし、「直前の動作と同時」を選択します。このように設定すると、クリック操作によって「東京電機大学」が表示された直後に、その音声を再生できます。



同様に、「〇〇学部」「〇〇学科」「電大太郎」を発声し録音します。手間はかかりますが、こうすることによって、文字列が表示される毎に、音声は再生されます。



複数の音声を組み込むときは、「録音されたサウンド」で保存すると、区別が難しくなります。発声内容に応じた名前でお名前を保存しておくことをお勧めします。

3枚目と4枚目のスライドにも、録音した音声を入れると良いでしょう。

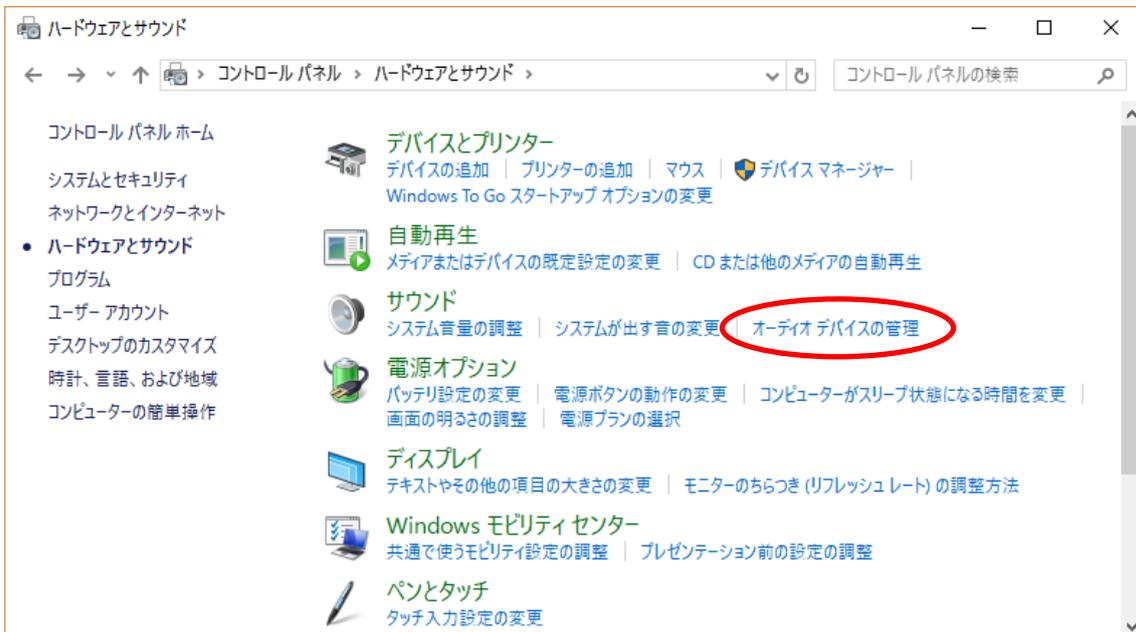
「ppt-sample3」の名前で保存しておきましょう。

## 14 スピーカの音量とマイクの音量の調整

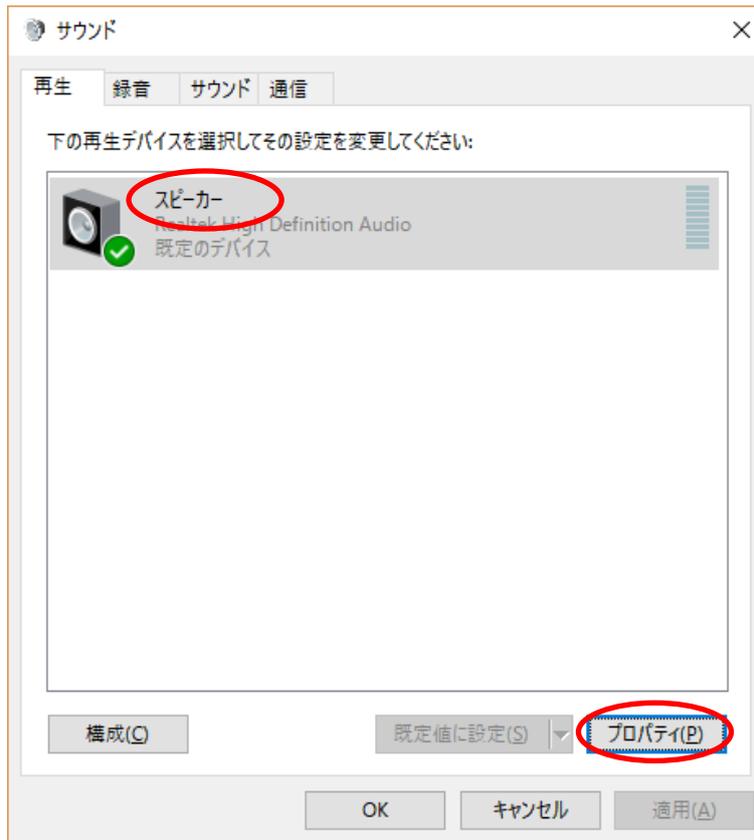
- (1) スピーカの音量とマイクの音量の調整はコントロールパネルで行います。「スタート」を右クリックし、「コントロールパネル」をクリックします。
- (2) 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



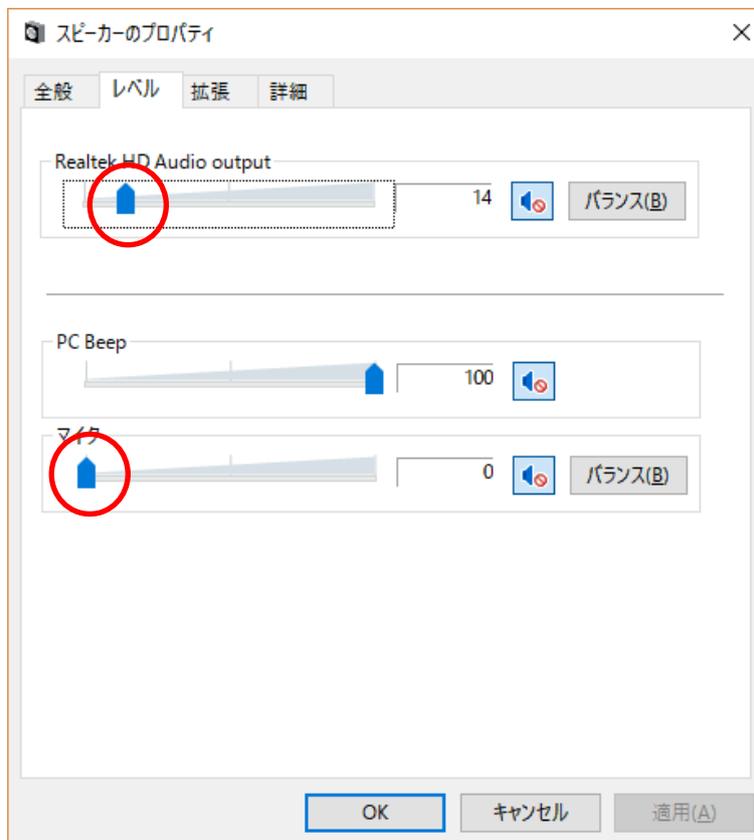
- (3) 「オーディオデバイスの管理」をクリックします。



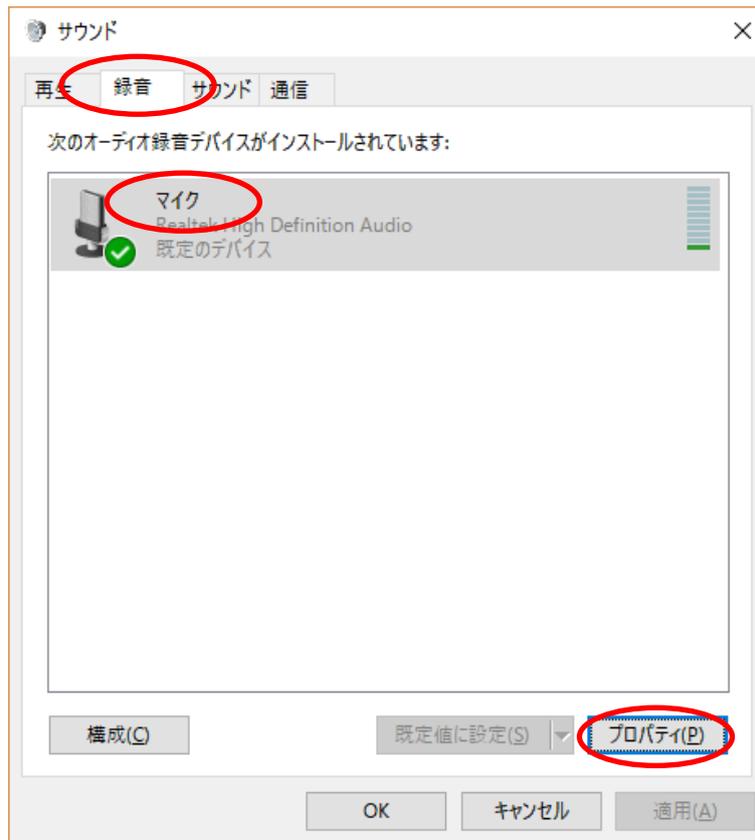
(4) 「スピーカー」をクリックし、「プロパティ」をクリックします。



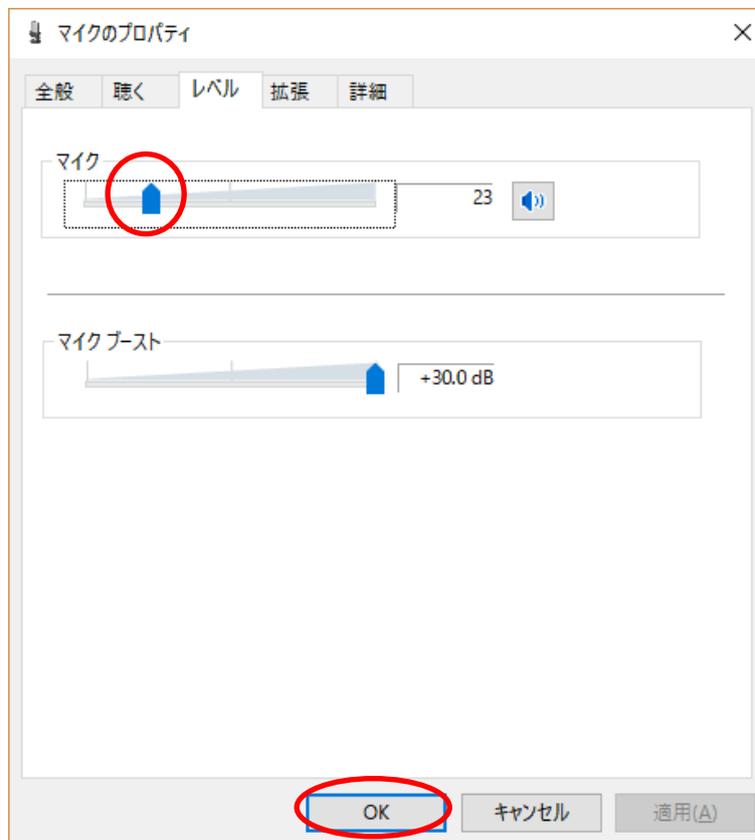
スピーカーの音量とマイクの音量を設定できます。



- (5) マイクの音量に関しては、「録音」タブをクリックし、「マイク」「プロパティ」の順にクリックしても行えます。



マイクの音量を設定します。最後に「OK」をクリックします。



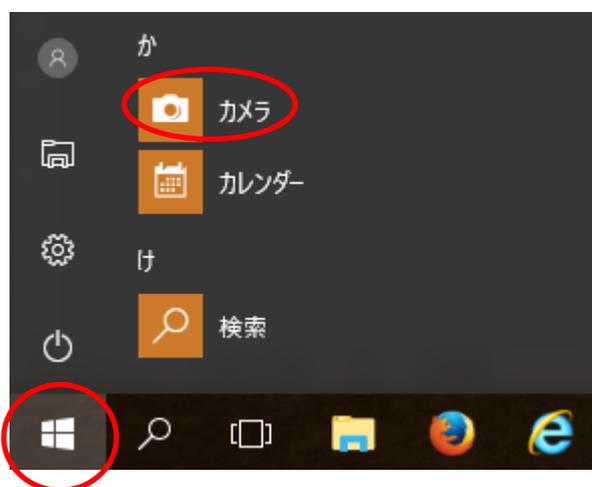
(6) 「詳細」タブでは、音質を設定できます。目的に応じて、サンプルレートを設定してください。最後に「OK」をクリックします。



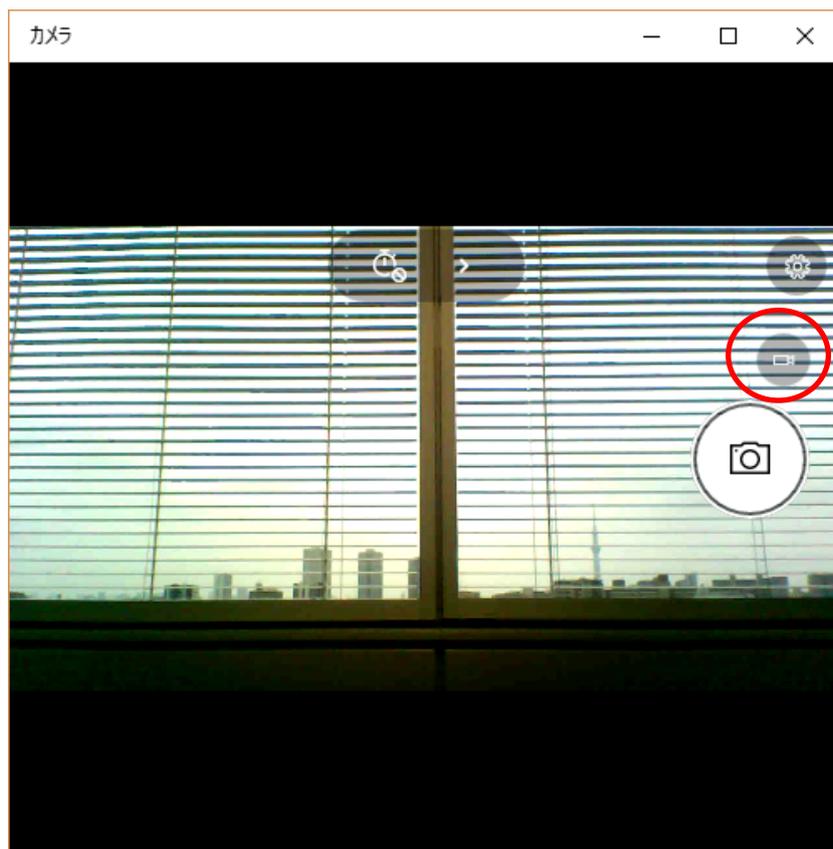
## 15 ビデオの挿入

ノート PC にカメラが付いていると、ビデオを録画することができます。ノート PC に内蔵されていない場合は、USB ケーブル等で外付けカメラを接続すると良いでしょう。

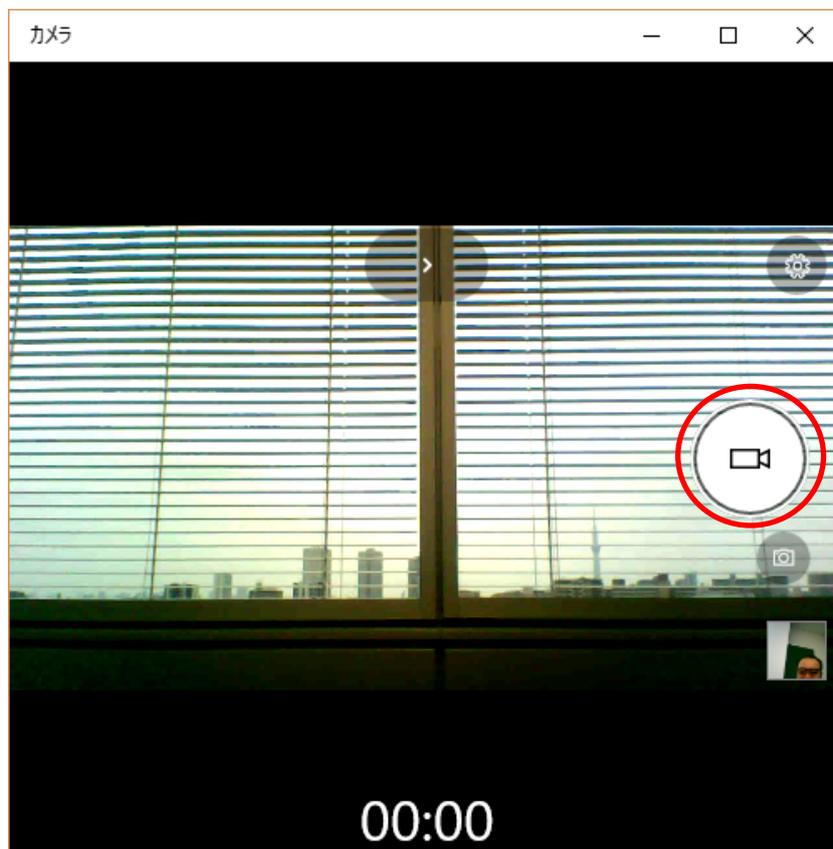
(1) 「スタート」をクリックし、「カメラ」をクリックします。



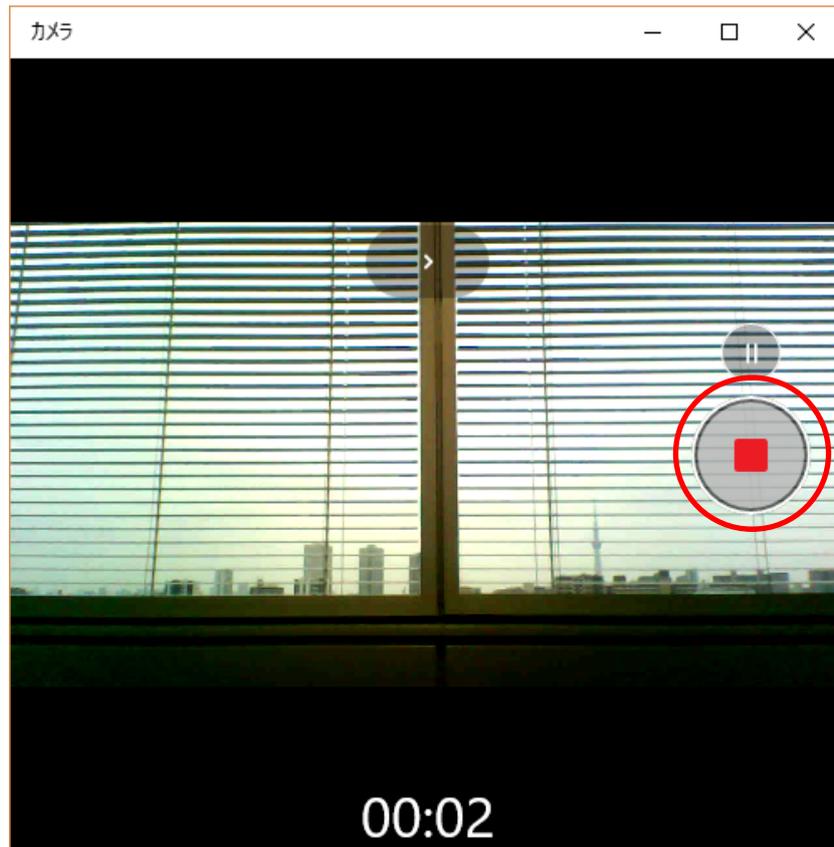
(2) 「ビデオ」をクリックします。



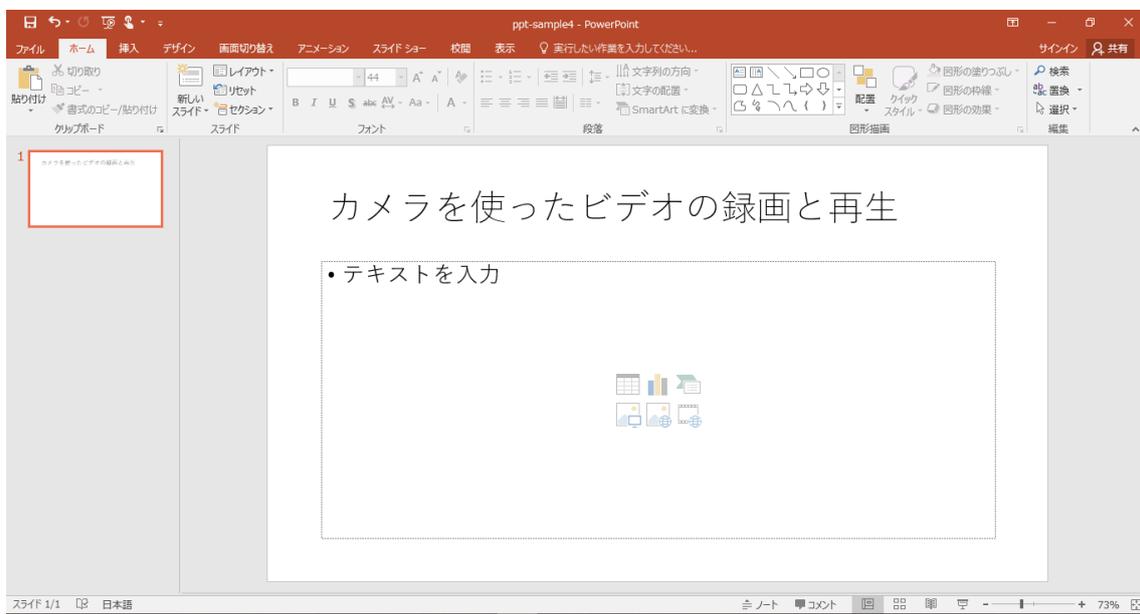
(3) 「ビデオの撮影」をクリックします。



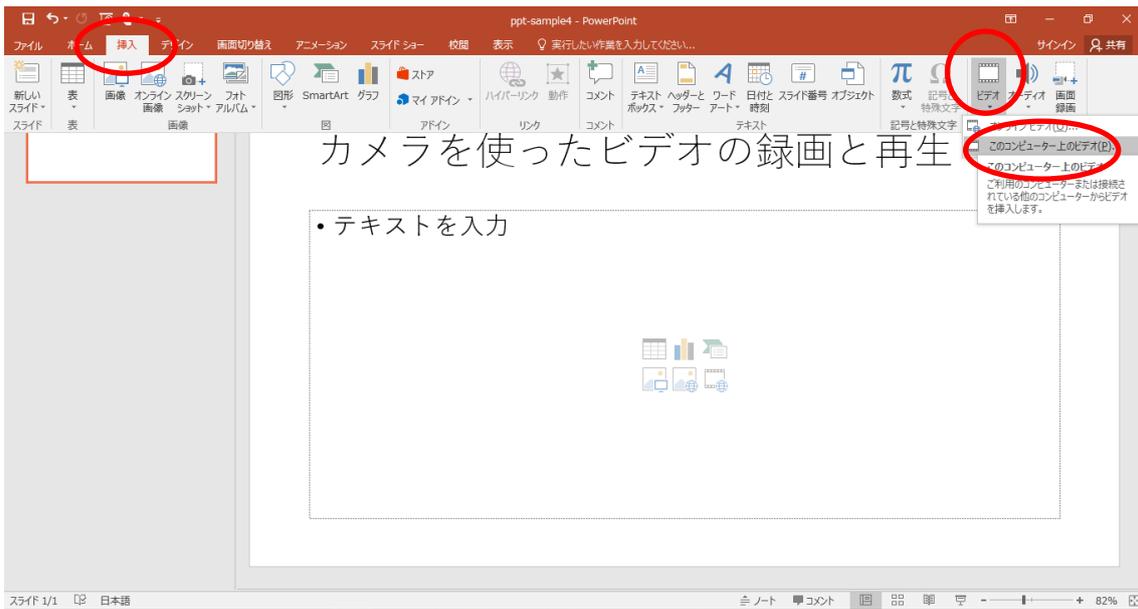
(4) 「ビデオの撮影を停止」をクリックします。



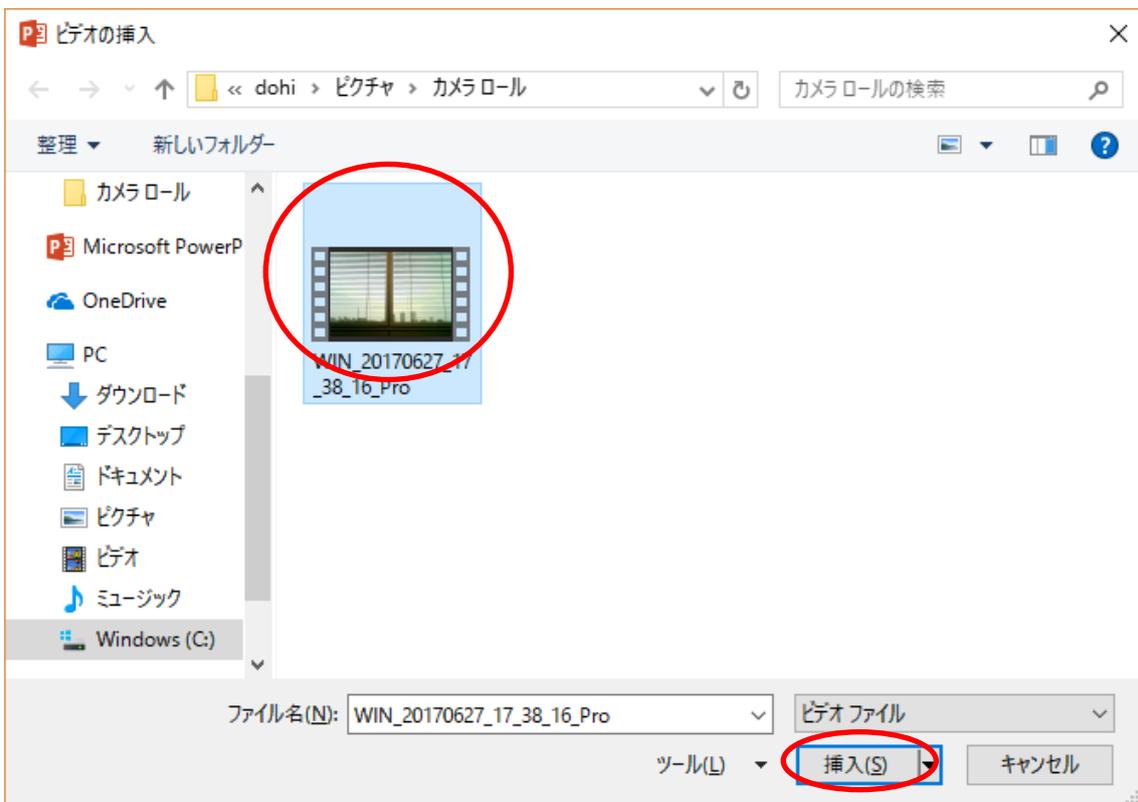
(5) スライドは、タイトルとコンテンツを使用しました。



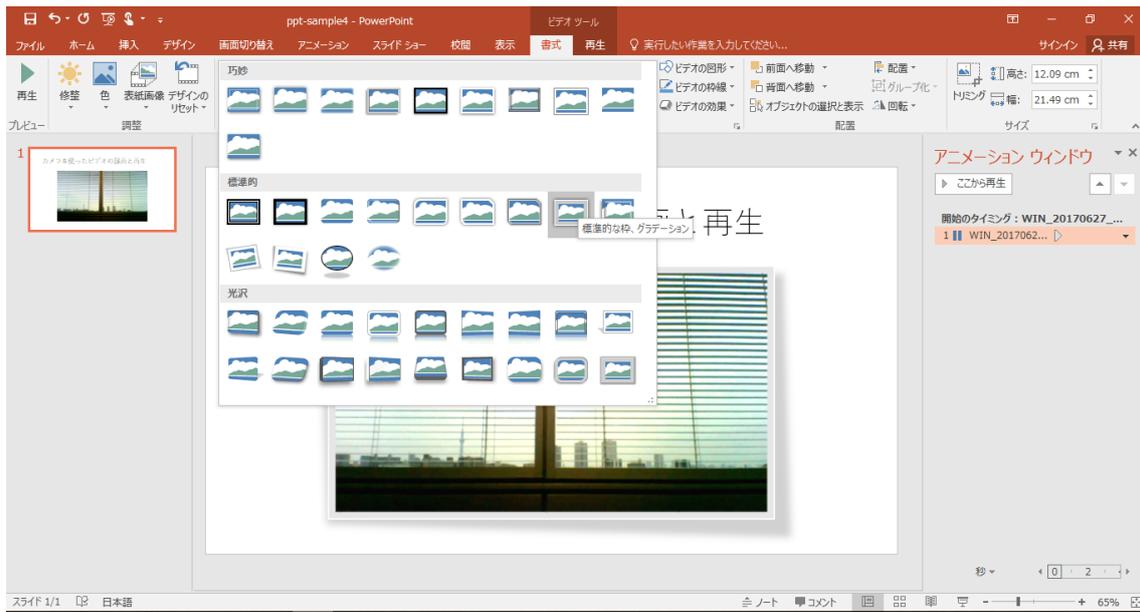
(6) 「挿入」タブをクリックし、「ビデオ」「このコンピュータ上のビデオ」の順にクリックします。



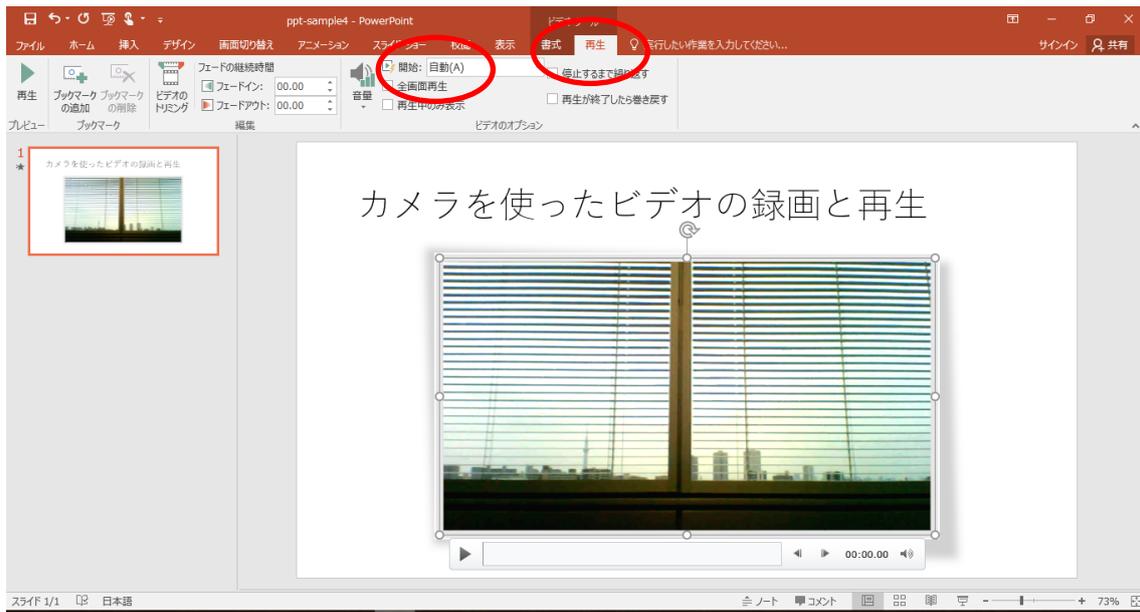
(7) 「ピクチャ」フォルダの中の「カメラロール」に撮影したビデオが保存されます。撮影したファイルをクリックし、「挿入」をクリックします。



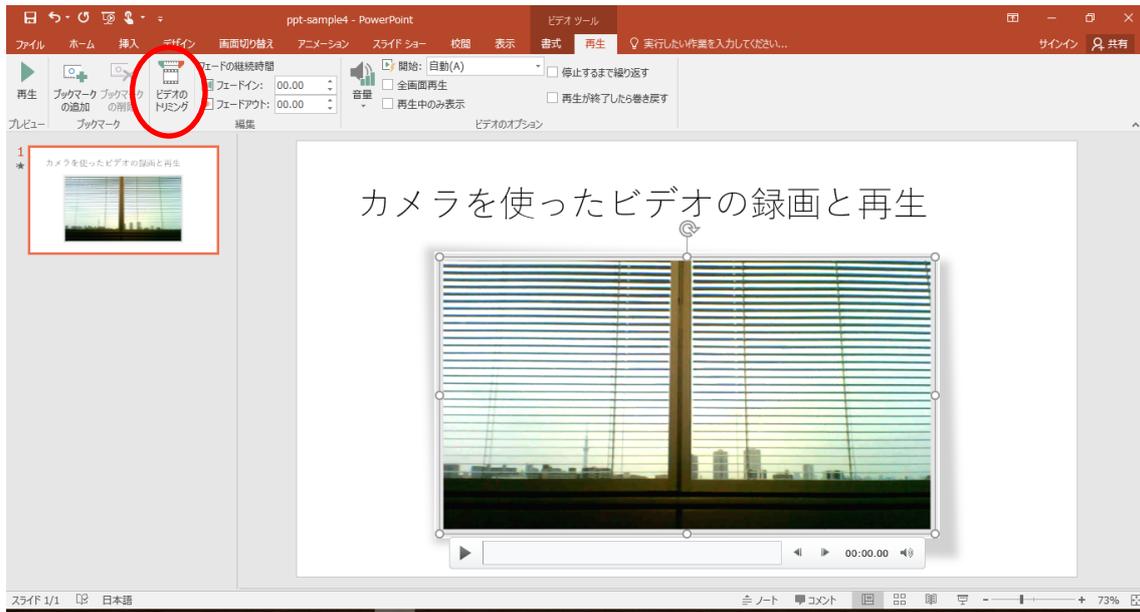
(8) 組み込んだビデオにビデオスタイルを設定しておくとい良いでしょう。



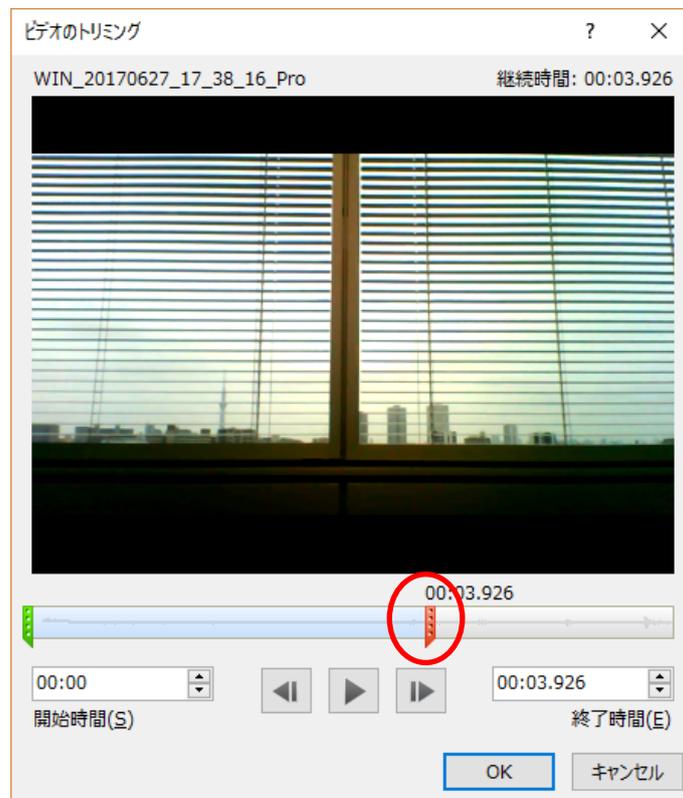
(9) 「再生」タブをクリックし、再生は「自動」を選んでおきます。



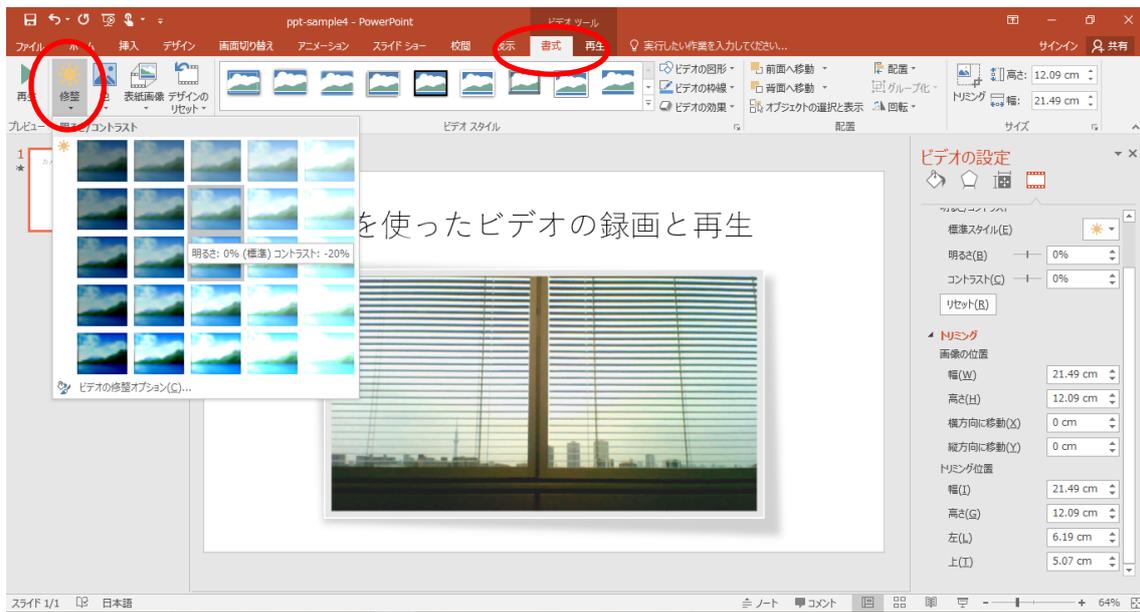
(10) 撮影したビデオの余計な部分をトリミングすることができます。「再生」タブをクリックし、「ビデオのトリミング」をクリックします。



撮影したビデオの後半部分をトリミングしたい場合は、マウスをドラッグして以下のように設定します。



(11) 撮影したビデオの明るさを修整できます。「書式」タブをクリックし、「修整」をクリックします。



「ppt-sample4」で保存しておきましょう。